



香川大学工学部ニュース

No. 33, 2009.10.1

フランシュコンテ大学と学術交流協定を締結

本学は、2009年7月24日にフランス共和国フランシュコンテ大学と学術交流協定を締結しました。フランシュコンテ大学は、1423年に開設された古い歴史を誇る大学で、15の学院からなる教職員数2,400人、学生数27,000人の総合大学です。協定書の調印はブザンソン市内の本部学長室で、フランシュコンテ大学のコンド学長と工学部秦教授により行われました。本協定の調印により、フランシュコンテ大学と香川大学は、双方の学術交流を拡大・推進するために、教員及び研究者の交流、学生の交流、共同研究の実施、研究会議の開催などを推進していきます。(広報室)



調印式の様子（右からコンド学長、秦教授）

香川大学発の国際会議 IEEE ICMA 2009

本学の協定校である中国長春理工大学において「2009 IEEE 知能メカトロニクス及びオートメーション国際会議 (IEEE ICMA 2009: 2009 IEEE International Conference on Mechatronics and Automation)」が、2009年8月9日から12日まで開催され、873名が参加し、成功裡に終わりました。28の国と地域から1902の論文投稿があり、査読で926編の論文（採択率は49%）が採用され、メカトロニクス分野において世界最大規模の国際会議となりました。この国際会議の創設メンバーの郭書祥教授が実行委員長を務め、本学から大平教授、秦教授をはじめ14人の教員及び大学院生が参加しました。

今年6回目となるこの国際会議は事務局を香川大学工学部に置き、工学部の多数の教員が運営に参加しており、IEEEに承認された、本学が主導する香川大学発の国際会議となっています。本学の学術交流と国際貢献の重要な窓口と発信元になることを期待しています。(広報室)



開幕式記念写真（左から4番目が郭教授）



IEEE ICMA 2009 主会議場

高校生向け大学体験授業を開催

材料創造工学科は、平成 21 年 7 月 30、31 日の 2 日間にわたり、高校生向けの大学体験授業を行いました。この体験授業は、科学実験やものづくりの体験を中心に企画され、7 年前より毎年夏に開催しています。本年度は、昨年度まで行った授業テーマを変更し、「光と物質の相互作用について知ろう」、「太陽光電池をつくってみよう」、「金属の熔融凝固過程を調べてものづくりを体験しよう」、「衝突事故に強い自動車用金属材料を開発してみよう」という新テーマで実施しました。香川県内の高校から、約 90 名の参加者を得て、授業後に実施した参加者アンケートでは多くの高評価を得ました。本事業は、(独) 科学技術振興機構 (JST) のサイエンス・パートナーシップ・プログラム (SPP) の助成を得て実施されました。(材料創造工学科、上路林太郎准教授)



太陽光発電に関する実験

「工学部ガールズ・パーティ vol.3」を開催

平成 21 年 7 月 1 日 (水) に、工学部 1 号館 11 階ラウンジにて香川大学工学部においてガールズ・パーティが開催されました。香川大学工学部では、女子学生の安心した大学生活や社会進出に向けた環境整備を目的にした女子学生応援計画を進めており、本イベントはその一環です。3 回目となる今回は、総勢 60 名 (学生 49 名、留学生 2 名、教職員 9 名) の過去最多の参加者が集いました。

今回のテーマは学生生活全般です。大学院生から研究室配属や就職活動についての経験やアドバイス、職員から OB・OG 訪問の秘訣や留学生の紹介など、多様な話題が提供されました。意見交換会の後は、参加者が事前に準備した手巻き寿司を囲んでの懇親会が行われました。会を追うごとに参加者も増え、徐々に定着してきたガールズ・パーティの今後の展開が楽しみです。(広報室)



発表者のアドバイスに聞き入る参加者

材料創造工学科 3 年生の木村公香さんが高松ゆめ大使に

平成 21 年 7 月 25 日、材料創造工学科 3 年生の木村公香さんが、香川県高松市の観光を PR する「高松ゆめ大使」の 9 代目大使として選ばれました。今回選出された木村さん他 2 名の高松ゆめ大使の皆さんは、8 月 12 日の高松まつりオープニングイベントにてお披露目されました。(広報室)



右端が木村さんです (写真提供：四国新聞社 (7 月 25 日掲載オンライン記事より))

地域と大学が協働した防災マップの作成

香川大学危機管理研究センターでは、各研究員の専門分野を生かした複合的な研究グループで、平成20年度から地域防災の問題に取り組んでいます。今年度は、香川大学幸町キャンパス周辺の二番丁校区内の自治会において、地域と大学が協働し、実際に地域を歩いて、地震時に危険な箇所および集中豪雨時に危険な箇所を確認し、防災マップを作成しています。このような機会を通して、地域防災の力になることはもちろんのこと、充実した地域防災および有効な防災教育の手法について提案していくことを目指しています。(安全システム建設工学科 野々村敦子准教授)



現地調査結果を地図に書き込んでいる様子

高校教員向けセミナーを開催

平成21年8月3日(月)午後、工学部において、高校教員向けのセミナーを開催しました。このセミナーの目的は、高校の先生方に必ずしもよく知られていない工学部の教育内容、資格、大学院への進学、就職等について工学系の全分野についてまとめてお話し、進路指導の役に立てていただくことです。工学部からは各学科から広報担当教員が1名と入試委員長の合計5名で対応しました。23名の



セミナーの様子

高校教員の先生方にご参加いただきましたが、岡山、徳島、山口の各県からも参加があるなど関心の高さがうかがわれました。参加者からは「送り出す立場として生徒にどのような知識が必要なのかよく分かった」、「進路の説明に必要な知識が得られた」など、好評をいただきました。今後も、高校教員向けの出前講座も提供するなど、進路指導のお役に立てる情報提供を行って参ります。(広報室)

研究室紹介：材料創造工学科 上路研究室

材料創造工学科の上路研究室では、鉄鋼などの構造用金属材料に対して、高強度等の優れた性質を付与することができる新規合金組成や新製造方法を考案することを目標とした研究と教育を行っています。実際の材料の溶解・成形・特性評価に関する実験に加えて、X線や電子顕微鏡観察による材料内部の原子の配列状態の調査も実施し、自動車車体に適用可能な新素材の開発を目指しています。また、香川県内外の民間企業から電子顕微鏡による受託試験の受注と実施も担当するなど、地域産業発展への貢献も活動目標としています。(材料創造工学科 上路林太郎准教授)



電子顕微鏡と試料を挿入する上路准教授

国際インターンシップ交流会を開催

国際インターンシップは今年度で10年目を迎え、恒例の国際インターンシップ交流会が、平成21年7月11日(土)工学部1号館11階ラウンジで開催され、約70名が参加しました。国際インターンシップに関わりのある受入企業、国際交流機関・団体、ホストファミリー登録をされている地域の方々、学生、教職員と多彩な顔ぶれが集い交流を深めました。今年度は、協定校であるフランスのポリテク・サボアから4名、ドイツのボン＝ライン＝ゾーク大学から1名が約5ヶ月のインターンシップを実施しています。また、工学研究科から、フランスへ2名、ドイツへ1名、フィンランドへ1名の計4名を派遣予定です。なお、昨年度から始まった協定校訪問事業で、9月には韓国の3つの協定校へ13人の学生が訪問しました。(広報室)



第2回オープンキャンパスを10月31日に開催

平成21年度の工学部オープンキャンパスは、第1回を8月7日(金)に開催し、大勢の高校生、保護者の方々、高校の先生方がご参加くださり大盛況でした。そして毎年秋に工学部が独自に開催する第2回オープンキャンパスは、10月31日(土)に行います。各研究室の展示やロボットコンテスト、模擬店など、楽しい企画が盛りだくさんです。さらにメインイベントには、防災教育をテーマとした講演や催しを予定しております。受験生の皆様には入試説明会と入試相談コーナーを用意しております。多くの皆様のご来場をお待ちしております。詳細は工学部ホームページをご覧ください。<http://www.eng.kagawa-u.ac.jp/> (広報室)



トピックス

学術賞受賞等

6月5日 知能機械工学科 土居俊一教授：自動車技術会フェロー就任

編集：工学部広報室 電話：087-864-2000 FAX：087-864-2032
e-mail：info@eng.kagawa-u.ac.jp <http://www.eng.kagawa-u.ac.jp/>